

○事業所名	放課後等デイサービス明るく元気に		
○保護者評価実施期間	R7年 2月 1日		R7年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	R7年 2月 1日		R7年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 4月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所に来ている利用者の年齢の幅が小学生から高校生までと広いことによって、集団活動や外出活動において学年間での関わりをより多く持つことができる。	スタッフからアプローチする 同年代では経験が難しい中高生が小学生の面倒を見る経験や小学生が中高生の模倣をして学ぶ経験などをできるよう集団活動や外出活動を特に多く取り入れている。 個別支援計画や支援プログラムにも役割や見本となる行動を位置づけて支援を行っている。	利用者一人ひとりに合わせた関わり方(接し方)や得意な子ことを伸ばしていけるようアプローチをし、それを他の利用者に教えてあげられるような環境作りを行う。
2	ご利用者・ご家族の今後の生活や将来に関して放課後等デイサービスにおける支援・療育のみではなく、卒業後の進路相談やご家族の現状の悩みなど、幅広い相談を承っている。	個別の支援計画に関わる支援内容のみではなく、他事業所の経験から将来の不安や今後の進路相談をより具体的にご家族が意識することができるように面談や送迎時の相談に乗っている。	具体的な就労の相談や相談内容を事業所のみで解決するだけではなく相談事業所などと連携を取り合い、さらに具体的な話ができるようにしていく。
3	SNS等での発信を定期的に行っているため、イベントでのこどもたちの様子を保護者が見れる。	集団活動や外出活動は個別での支援と比べて活動している様子を確認することが難しく、言葉での説明も十分とは言えないため、SNSで写真をあげることで、活動内容をより具体的に周知することを意識している。 ご家庭での様子とは異なる様子を見ることができるよう外出活動を多く取り入れている。	今後も多くの保護者様に見ていただけるように、SNSでの発信を周知していく、イベント以外の事業所での様子も多くの発信できるようにしていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会などの交流の場がほとんどない。	事業所の駐車場の台数に限りがあるので、事業所での開催が難しいため、調整等が難しい。 保護者様の都合もあるので平日の開催が難しいため出来ていない。	公民館での開催 今後、平日以外の開催をできるよう調整していきたい
2	活動の場所・学習の場・運動の場が分かれていない	ワンフロアのため活動に関する構造化がなされていない	今後パーティション等で学習の場や活動の場など視覚的に理解しやすいよう構造化を図っていきたい。
3	バリアフリー化が出来ていない	事業所の構造上全部をバリアフリー化するのは難しい	段差や危険な箇所には目立つ色のテープなど張って事故や怪我を未然に防げるようにしていく